

フレッシュャーズセミナー

1年 前期 必修 2単位

【※学年、必選、単位は、学科、入学年度等により異なる場合があります。必ず履修の手引きで確認してください。】

担当教員：久米、林、鹿児島、富岡、丸山、樺山、橋本、木村、レンデンマン、瀬戸、鈴木祐、小林、鈴木直

教育目標：大学生としての学修のために必要な基礎的かつ汎用的な能力を育成することを目標とする。特に履修の仕方や学修の概念を学び、高校から大学へのスムーズな転換教育を行う。また、様々なスタディスキルズ（ノートの取り方、講義の聴き方、情報の収集整理法など）を修得し、さらにアクティブ・ラーニングを通して、「聞く・話す・調べる」技法を学修する。併せて社会で通用する良き習慣を身につける。

授業計画

No.	項目	到達目標
第1回	オリエンテーション①	フレッシュャーズセミナーの目的および受講の心得を説明できる。 履修計画が作成できる。
第2回	オリエンテーション②	チーム名を決定し、発表できる。 チーム内で自己紹介ができる。他者への関心を態度で示すことができる。
第3回	図書館ツアー	図書館の効果的な利用法を体験できる。
第4回	まとまりのある文章を書く	「今の時点で考える看護師像」をテーマにまとまりのある文章を書くことができる。
第5回	スタディスキルズ・スチューデント・スキルズの基本① 大学生活のルール	キャンパス内外でのマナーについて考え、自分の行動に結びつけることができる。
第6回	スタディスキルズ・スチューデント・スキルズの基本② 勉強の仕方、試験の受け方	勉強の仕方や試験の受け方について先輩のアドバイスを取り入れることができる。
第7回	スタディスキルズ・スチューデント・スキルズの基本③ 大学での学修の基本	シラバスとは何かを説明できる。ノート（聴講メモ）の取り方、レポートの書き方、キーワードの使い方の基本を実践できる。
第8回	スタディスキルズ・スチューデント・スキルズの基本④ 自分史・学習ポートフォリオの作成	自分史・学習ポートフォリオを作成できる。
第9回	新聞記事のトピックスから①	新聞記事のトピックスを読み、キーワードをあげることができる。
第10回	新聞記事のトピックスから②	トピックスに関する解説を聴き、聴講メモを取り、時間内にレポートをまとめることができる。必要な情報を収集整理できる。
第11回	KJ法の理論と実践①	KJ法を実践することができる。自分たちで決めたテーマに基づきグループ討論を行い、討論結果をポスターにまとめることができる。必要な情報を収集整理できる。
第12回	KJ法の理論と実践②	ポスターに基づいて全体発表を行い、質疑応答ができる。
第13回	話す技法① 話し方講座	相手に伝わる話し方ができる。
第14回	話す技法② コミュニケーションとは何か	話し方についての講話の内容をもとに、コミュニケーションとは何かについて、感想文をまとめることができる。
第15回	コミュニケーションワーク①	コミュニケーションワークを通して「言葉を伝えることの大切さやむずかしさ」を体験し、コミュニケーション力を磨く。
試験		

No.	項 目	到 達 目 標
第16回	コミュニケーションワーク②	コミュニケーションワークを通して「言葉を伝えることの大切さやむずかしさ」を体験し、コミュニケーション力を磨く。
第17回	自分の通う大学について学ぶ① キャンパスマップ・キャンパスインタビュー	キャンパスマップを描くことができる。大学内の部署・施設を探検し、大学教職員の役割を調べる。研究室を訪問し、教員と会話ができる。
第18回	自分の通う大学について学ぶ② 壁新聞の作成	①で学んだことを壁新聞としてまとめることができる。
第19回	自分の通う大学について学ぶ③ 壁新聞の完成	インタビューをもとに、壁新聞を完成させることができる。
第20回	自分の通う大学について学ぶ④ 壁新聞の発表	壁新聞を使って全体発表ができる。集団の一員として自覚と誇りをもって行動できる。
第21回	研究活動に求められる心構え①	研究活動においてしてはいけないことの説明ができる。著作権や情報の取り扱い方などについて説明することができる。
第22回	研究活動に求められる心構え②	研究に必要な独創的な考え方、能力、態度について学び、研究のコンピテンシーを身につけることに役立てることができる。
第23回	マインドマップ作成演習①	マインドマップとは何かを説明できる。提示された課題で、個人でマインドマップを作成できる。
第24回	マインドマップ作成演習②	提示された課題で、チームでマインドマップを作成し、全体発表できる。
第25回	課題解決演習① 講話	講話と下調べをもとに、いま求められる看護師像について課題を発見し、グループ討論ができる。
第26回	課題解決演習② グループ討論	グループ討論から引き出されたチームとしての結論を、各自がパワーポイントにまとめることができる。
第27回	課題解決演習③ 個人発表	チーム内でパワーポイントを用いて個人発表し合い、相互評価ができる。チームとしての結論をブラッシュアップして、発表用パワーポイントを作成することができる。
第28回	課題解決演習④ 全体発表	チームの代表者が全体発表を行い、全員で質疑応答を行うことができる。
第29回	振り返りと個人発表①	作成したポートフォリオなどを振り返ることができる。各自、フレッシュャーズセミナーを通じて得たこと・学んだことを発表できる。
第30回	振り返りと個人発表②	作成したポートフォリオなどを振り返ることができる。各自、フレッシュャーズセミナーを通じて得たこと・学んだことを発表できる。
試 験		試験は実施しない。

準備学習： 事前の下調べやレポート課題が課せられるので、manab@TMUを毎回チェックして事前学習を行うこと。前の週に作成したポートフォリオをもとに学習内容の振り返りを徹底すること。タブレットは充電して毎回持参すること。

評価方法： ポートフォリオの内容60%、受講態度（提出物の確認表、相互評価、教員評価）40%により評価する。

テキスト： 毎回の配付資料

参考書：大学基礎講座 改増版一充実した大学生活をおくるために一、藤田哲也著、北大路書房

備 考： 本講義は2コマ連続（180分）で行い、全30回の講義を15週で実施する。グループ活動を基本とするため、10人程度が1グループとして編成され、各グループに先導役を兼ねるチューター教員が配置される。チューター教員は学生のスタディー・ライフの相談役となる。